

2006年度 社団法人 天草本渡青年会議所 委員会年間事業報告書

- 委員会名： 総務広報委員会
- 担当副理事長名： 山元賢明
- 委員長氏名： 津田博之
- 副委員長氏名： 中田勝也・山本博
- 委員氏名： 赤城多郎・池崎興二・野嶋雅文・村田勝貴・松岡大輔
倉田義彦・谷脇幸樹

I. 事業名【ホームページの運営】

1. 事業目的

外部に（社）天草本渡青年会議所の情報を発信、PRすると共に、メンバー間での情報の共有化を図る。又、会員拡大ツールとしてメンバーに活用してもらう。

2. 実施日時・場所

通年・（社）天草本渡青年会議所ホームページ上

3. 参加人員

（外部）関係諸団体	1名
（内部）理事・役員	22名
メンバー	42名
その他	0名
<hr/>	
合計	65名

4. 事業内容

- (1) トップページの更新。
- (2) ホームページの内容の充実。

5. 手 段

- (1) 随時更新を行い、内容の充実を図りながら、新しい情報を対内外に発信する。

6. 成 果

青少年事業では、遠く離れた高知での子供達の様子を保護者の皆さんにホームページを通して見ていただき大変喜ばれた。

こまめに更新したことでメンバー間の情報の共有化、対外に向けての情報の発信ができた。

7. 引継事項

- ①「フリートーク」の運営方法を十分に検討して下さい。
- ②委員会内での勉強会を行って下さい。
- ③トップページの掲載内容は青年会議所らしく誤解される事がないよう十分に検討して下さい。

Ⅱ. 事業名：【議事録の作成保存】

1. 事業目的

正確な資料として、記録を残す。後で、見るとき発言者の意図が正確かつ的確に伝わるような議事録を作成する。

2. 実施日時・場所

通年 理事会会場・例会会場

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名
(内部) 理事・役員	3名
メンバー	7名
その他	名
<hr/>	
合計	10名

4. 事業内容

(1) 理事会・例会の議事録作成・保存

5. 手段

(1) 毎月の担当者を決め、当月担当者は理事会にオブザーバーとして参加し、スムーズに議事録を作成する。

6. 成果

委員会メンバー全員が、議事録を作成することで理事ではないメンバーも理事会の内容を知ることが出来た。

7. 引継事項

①議事録は発言者の意図が正確に伝わるよう作成して下さい。

②方法・手段は色々あると思いますので、委員会内で十分に検討して下さい。

Ⅲ. 事業名【取材活動】

1. 事業目的

「あしなみ」「LOM内広報誌」「ホームページ」などの素材収集

2. 実施日時・場所

通年・各事業開催場所

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名
(内部) 理事・役員	22名
メンバー	42名
その他	名
<hr/>	
合計	64名

4. 事業内容

(1)カメラを使って各事業を取材し、データで記録して保存する。

5. 手段

(1)カメラ（ビデオ・デジタル・アナログ）を事業によって使い分けることができた。

6. 成果

各事業に参加する機会が増えて青年会議所活動をより深く理解することが出来た。

7. 引継事項

- ①一定の期間の担当者を決めて委員会メンバー全員で取材活動を行って下さい。
- ②他委員会メンバーへの取材依頼は早く行って下さい。
- ③事業内容を考えてデジタル・アナログを使い分けて下さい。
- ④個人のカメラを使われる時は、保険を掛けてください。また事務局のビデオカメラデジタルカメラは他の備品同様、事務局長が管理してください。

IV. 事業名【LOM内広報誌（シルバーリング）の発行】

1. 事業目的

LOM内外の出来事や情報をメンバー全員にお知らせする。

2. 実施日時・場所

毎月の例会時・総会時に配布

3. 参加人員

（外部）関係諸団体	名
（内部）理事・役員	22名
メンバー	42名
その他	名
合計	64名

4. 事業内容

(1)LOM内の様々な出来事をわかり易く・楽しく伝える。

5. 手段

(1)毎月1回発行し、例会・総会時に配布

6. 成果

LOMの公式な行事や上部団体の事業などをメンバーに伝えることができた

7. 引継事項

- ①取材活動からの写真や記事を早くデータ化することを心掛けて下さい。
- ②毎月の担当者を決め、その担当者を中心に委員会メンバーで取り組んで下さい。

V. 事業名【熊本会議への参加】

1. 事業目的

熊本ブロック及び他の青年会議所活動を知り交流を深め、また熊本ブロック協議会へ多くのメンバーを出向している（社）天草本渡青年会議所をアピールする。

2. 実施日時・場所

2006年2月16日

熊本会議・県民交流会館パレオ

懇親会・ホテル日航熊本

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名	
(内部) 理事・役員	18名	
メンバー	4名	
その他	名	
合計	22名	

4. 事業内容

(1) 熊本ブロック協議会の今年度の活動方針発表、及びメンバー間の交流の機会

5. 手段

(1) 出向者が多かったのが各々で行ったが、マイクロバスでのメンバー間の交流も深めることができた

6. 成果

今年度の熊本ブロック協議会の活動方針を聞くことができ、他 12LOM のメンバーとの深い交流が行えた

7. 引継事項

- ①遠方での開催なので早めの周知を行って下さい。
- ②事業計画書早く作成することで案内や委員会内の役割分担などスケジュール的にも慌てなくて済みます。
- ③バス会社等への見積りをとって下さい。
- ④年間事業計画の予算組みの段階から、建前としての参加人数と、例年の参加者人数に沿った計画立案をして下さい。

VI. 事業名【会議運営上必要な事項】

1. 事業目的

会議の円滑な運営を目指す。

2. 実施日時・場所

通年・理事会・例会会場

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名
(内部) 理事・役員	4名
メンバー	7名
その他	名
合計	11名

4. 事業内容

(1) 会議設営及び準備。

5. 手段

(1) 委員会メンバー全員で協力して準備する。

6. 成果

会議前の準備がスムーズに出来た。

7. 引継事項

① 会議が始まる1時間前には準備をしたほうがよいです。

VII. 事業名【会員拡大の推進】

1. 事業目的

同じ志を持つ仲間を増やし、(社)天草本渡青年会議所をより活性化する

2. 実施日時・場所

通年

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名
(内部) 理事・役員	3名
メンバー	5名
その他	名
合計	8名

4. 事業内容

(1) 同じ志を持つ仲間を増やす。

5. 手段

(1) 委員会メンバー全員で協力して、情報を共有し、連携して会員拡大を行う。

6. 成果

メンバーを増やすことが出来なかった。

7. 引継事項

- ①会員拡大は大変重要なことですので、いつ何時でも勧誘する気持ちを忘れずに心掛けて下さい。

VIII. 事業名【機関紙「あしなみ」発行】

1. 事業目的

青年会議所の活動をメンバー全員によりわかりやすく伝え、全ての事業に参加してもらえるような機関誌を目指す。特に、なかなか事業に参加出来ないメンバーに参加してみようという気持ちになるような機関誌を作る。また、新入会員の勧誘ツールとして、メンバーに使用してもらう事で、会員の拡大を目指す。

2. 実施日時・場所

2006年12月発行・郵送及び配布

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名
(内部) 理事・役員	22名
メンバー	41名
その他	名
合計	63名

4. 事業内容

(社)天草本渡青年会議所の本年度を理事長の思いや、各理事の事業に対する意気込み、本年行っていく事業などを紹介し、OB、各種団体及び学校、市役所、金融機関などに配布して、青年会議所の認知度を上げる。

5. 手段

- (1)内容の充実とレイアウトの工夫
- (2)出来る限りの手渡し配布

6. 成果

大幅に発行が遅れてしまい十分なアピールが出来なかった。

7. 引継事項

- ①早めに原稿依頼を行って下さい。
- ②余裕を持って議案上程し、内容を充分検討して下さい。
- ③配布先を再度検討して下さい。

Ⅸ. 事業名【卒業式】

1. 事業目的

今年度卒業される2名のメンバーに、JC最後の素晴らしい思い出作りをしていただき、今日までの労をねぎらうと共に、これまでのJC活動を振り返って様々な思い出を熱く語っていただき、その熱い思いを現役メンバーで受け継いでいきたい。

2. 実施日時・場所

2006年12月17日 17:00より ホテル アレグリア天草

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	名	(内部) 理事・役員	21名
		メンバー	26名
		シニアメンバー	16名
		その他(卒業生家族)	6名
		合計	69名

4. 事業内容

- (1)卒業生にとってJC活動最後のよき思い出となるよう、心を込めた企画・演出を心掛け、二人のそれぞれの体験・経験・思いをこころゆくまで語っていただく。
- (2)年末の忙しい時期ですが、早めの周知と呼びかけを行うと共に、委員会メンバーで手分けして06委員会及び07委員会にて卒業式に出席していただくようお願いして、多くの方に参加していただく。

5. 手 段

- (1)感動的な内容をメンバー全員で演出する。

6. 成 果

卒業生2人がJC活動に対しての思いを十分に語っていただき、その思いは現役メンバーに伝わったこと

7. 引継事項

- ①全メンバーで卒業生を送り出せるよう早めに日時・場所を決めてください
- ②シナリオを早く作り、心を込めた演出をしてください

回数	開催日	委員会開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	10/27	とらや	顔合わせ	7	3	70%
2	11/16	JC会館	年間事業計画	6	4	60%
3	11/24	JC会館	通年事業協議	4	6	40%
4	12/13	JC会館	通年事業協議	5	5	50%
5	12/27	JC会館	通年事業協議	5	5	50%
6	1/9	JC会館	会員研修委員会	6	6	50%
7	1/14	JC会館	各種会議の設営	8	3	73%
8	1/24	JC会館	熊本会議	6	4	60%
9	2/21	JC会館	あしなみ4月号	4	6	40%
10	3/6	JC会館	あしなみ5月号	6	4	60%
11	6/2	JC会館	あしなみ初夏号	8	2	80%
12	9/12	JC会館	あしなみ	3	6	33%
13	9/21	JC会館	卒業式	4	5	44%
14	10/18	JC会館	あしなみ	5	4	55%
15	11/27	JC会館	卒業式	3	6	33%

委員長所見

初理事で委員長という大役を仰せつかり、最初は自分で勤まるのだろうかと思っていました。思っていた通り資料作成に時間はかかる、委員会を開催しないといけない、取材にいかなくては・・・理事会議事録が・・・というように考えて行動することが全然出来ませんでした。しかし入会間もない私がこんな貴重な1年を経験させていただき、山元副理事長、中田・山本副委員長、委員会メンバーの皆さまには本当にお世話になりました。勿論、浜浦理事長はじめ執行部の皆さま、天本の全メンバーの皆さまにも大変お世話になりました。残りの2年間で少しでも返していかななくてはと強く思っています。1年間、有難うございました。

担当副理事長所見

初の委員長経験をされて多くの難題に取り組みました。また、総務広報という縁の下の力持ち的存在の委員会が、いかにして輝くことができるかを一生懸命に考えられたと思います。結果として議事録作成や、素晴らしい広報誌の作成、ホームページの運営などをメンバー全員で実施されました。一部事業においては予定通りに進まず気をもまれたこともあったでしょうがこの一年間の経験は委員会メンバーそれぞれの職場や家庭において今後きっと役に立つと思います。担当副理事長として十分なお手伝いはできなかったと反省していますが、私自身も本年の経験をこれから活かしていこうと思います。